

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第61号 2008年6月

やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会
〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2
☎0465-85-1900 URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

定例観察会のお知らせ

毎週土曜・日曜および祝日に「かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。午後1時までで、やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月下旬・1月・2月)は安全確保のため休止します。

水源林は梅雨時に本領発揮

例年より一週間も早く梅雨入りしました。雨が降れば水源林は本領発揮。恵みの雨をしっかりと受け止めて、おなかいっぱい水を溜め込みます。山からしみだした水の一滴一滴が集まって、やがて豊かな流れに。薄日がさせばもう夏。木々たちはより高くより広く枝葉を広げようと光合成工場をフル稼働し、見事な花も咲かせます。



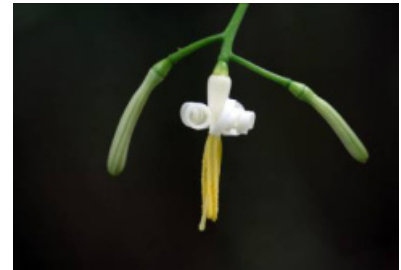
しとしとと降る雨は林床の草木や落ち葉をぬらし、長い年月をかけて育んだふかふかの土にどンドン吸い込まれていきます。表土が露出した斜面等で見かける土柱は、簡単に言えばその高さの分だけ土が流されたことを意味します。下草や落ち葉でしっかりと覆われていて表土が流されない山にしたいものです。

林縁には初夏の花々が咲き競っています。

ジャケツイバラは今年も美しい花をつけました。バイカウツギは梅に似て、いいにおいがします。ニシキウツギは白く咲き始め、だんだん赤くなります。



ヤマボウシ、ウツギ、変わった形のウリノキの花も咲き始めました。



動物たちも負けてはいません。

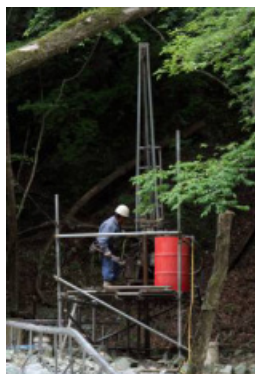
ツマキチョウは森の案内人動物班では初確認とのこと。ハンミョウは行く先々を飛び、道案内をしてくれました。日本三鳴鳥のひとつオオルリが得意げにさえずりました。



6月のトピックス

姿は見られなくてもカジカガエルが鳴き、ミソサザイ、オオルリ、キビタキ、クロツグミなどが美声を聞かせてくれます。

水棚沢付近では砂防工事のための地質調査(ボーリング)が行われています。通行に注意しましょう。 →



7月の見所

- ・7月は雨の日も多いでしょうが、梅雨が明ければもう夏。やどりき水源林では7月24日(木)に森林づくり体験講座として「水生生物観察と森林散策」が行われます。詳しくは「県のとより」7月号をご覧ください。